

科目名	社会と人間の心理学				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次
教員名	井上 かおり	単位数	2 単位		

授業概要／Course outline

社会心理学の基本的な知識と諸研究について、講義を行う。日常生活の中の、人が二人以上いる場面の諸問題について、その背景にある心理メカニズムへの理解を深める。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- オンデマンド授業は、Moodleで行う。内容に関する質問も、Moodleで受け付ける。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 はじめに 見ること

授業の進め方について、第一印象、言語による印象形成、対人認知

第2回 好きになること

対人魅力の規定因、代表的な恋愛理論

第3回 伝えること（1）

対人コミュニケーションとは、非言語的コミュニケーション

第4回 伝えること（2）

説得的コミュニケーション、マスコミュニケーション

第5回 助けること

援助行動とは、キティ・ジェノヴィーズ事件、援助行動の規定因

第6回 集団について

集団とは（集団の形成、地位と役割、凝集性、集団規範、コミュニケーション・ネットワーク）

第7回 率いること

リーダーシップとは、代表的なリーダーシップ理論

第8回 従うこと

集団規範、同調と逸脱、権威への服従

第9回 考えること・決めること

集団思考、集団極性化、ブレインストーミング、KJ法

第10回 差別すること

アメリカにおける実験授業（「青い目茶色い目」）を例に考察

第11回 攻撃すること（1）

なぜ攻撃するのか、攻撃行動のコントロール

第12回 攻撃すること（2）

児童虐待、ドメスティック・ヴァイオレンス

第13回 比べること

自己と他者を比べること、社会的比較過程、栄光浴、自己評価維持モデル

第14回 信じること

ヒューリスティック、予言の自己成就、ピグマリオン効果、プラセボ効果

★オンデマンド 心理データの特徴

データのばらつき、相関関係と因果関係、サンプリング調査

資料と動画をMoodleに掲載する。配信日時については、授業内およびMoodleで周知する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

事前・事後学修の所要時間は、講義1回につき約180分程度。

第1回 はじめに 見ること

〔事前学修〕教科書（pp. 1 - 8）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕対人認知について復習する。日常生活の中で、自分が他者をどのように捉えているのか観察する。

第2回 好きになること

〔事前学修〕教科書（pp. 15 - 33）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕対人魅力の規定因について復習する。

これまで出会った人と、どのようなきっかけで親しくなったのか、思い返してみる。

第3回 伝えること（1）

〔事前学修〕教科書（pp. 45 - 56）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕非言語的コミュニケーションについて復習する。

日常生活の中で、非言語的コミュニケーションを意識的に使ってみる。

第4回 伝えること（2）

〔事前学修〕教科書（pp. 67 - 87）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕説得的コミュニケーションについて復習する。

日常生活の中で、どのような説得的コミュニケーションが行われているか観察する。

第5回 助けること

〔事前学修〕教科書（pp. 96 - 100）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕援助行動について復習する。

授業で説明された事例について、もし自分がそこに居合わせたらどうするか、また、それはなぜか考察する。

第6回 集団について

〔事前学修〕教科書（pp. 103 - 106）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕集団について復習する。自分の所属する集団について、授業で学んだ切り口から検討する。

第7回 率いること

〔事前学修〕これまでに自分がどのような集団に所属し、そこにどのようなリーダーがいたか、思い出しておく。

〔事後学修〕リーダーシップについて復習する。

自分の所属する集団のリーダーシップについて、現状を分析してみる。

第8回 従うこと

〔事前学修〕教科書（pp. 107 - 109）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕集団規範・同調圧力・権威への服従・少数派の影響などについて復習する。

授業で説明された事例について、もし自分がそこに居合わせたらどうするか、また、それはなぜか考察する。

第9回 考えること・決めること

〔事前学修〕教科書（pp. 114 - 117）にざっと目を通しておく。

〔事後学修〕集団浅慮・集団極性化について復習する。また、ブレインストーミング、KJ法について、日常生活の中で実践する。

第10回 差別すること

〔事前学修〕身の回りに差別があるかどうか考えてみる。あると思う場合は、どのようなものか思い出しておく。

〔事後学修〕差別が起こる仕組みについて復習する。

自分の身の回りで、どのような差別が行われているか、あらためて振り返る。

第11回 攻撃すること（1）

- 〔事前学修〕教科書（pp. 129 - 138）にざっと目を通しておく。
- 〔事後学修〕攻撃行動が起こる理由について復習する。
日常生活の中で、攻撃行動を未然に防ぐ方法について考察する。

第12回 攻撃すること（2）

- 〔事前学修〕教科書（pp. 140 - 154）にざっと目を通しておく。
- 〔事後学修〕児童虐待・ドメスティックバイオレンスについて復習する。
もしも何かあったとき、自分は具体的にどこに相談するのが良いか、調べてみる。

第13回 比べること

- 〔事前学修〕自己と他者の比較について、最近の経験を振り返っておく。
- 〔事後学修〕社会的比較・栄光浴・自己評価維持モデルについて復習する。
日常生活の中で、自分や身近な他者の行動を、モデルを用いて分析してみる。

第14回 信じること

- 〔事前学修〕日常の小さな判断について、なぜそのよう判断をしたか、改めて考えておく。
- 〔事後学修〕ヒューリスティック、予言の自己成就などについて復習する。
日常生活のさまざまな現実のうち、何が物理的現実で、何が社会的現実か、考察する。

★オンデマンド 心理データの特性

- 〔事前学修〕教科書やMoodleの資料に、目を通し、知識を整理しておく。
- 〔事後学修〕世の中に溢れる数字について、改めてその根拠を考えてみる。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・社会心理学の概要を理解できるようになること。
- ・日常生活の中の、人が二人以上いる場面の諸問題について知り、その背景にある心理メカニズムをある程度理解できるようになること。また、習得した知識を用いて、現実社会の問題を解決できるようになること。
- ・人間の不思議さ、面白さを味わいながら、自分について、他人についての論理的な理解ができるようになること。また、その知識に基づいて社会の中で責任ある行動ができるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

授業で使用したスライドやプリントは、Moodleにアップロードする。各自、必要に応じて活用されたい。

評価方法／Evaluation

定期試験（筆記試験）80%、平常点（授業への参加度合い）20%

教 材／Text and materials

教科書：藤本忠明・東正訓（編）『ワークショップ 人間関係の心理学』（ナカニシヤ出版、2004年）

質問や相談の方法／Instructor contact

質問や相談がある場合は、教室にて直接、または、Moodleから連絡すること。
詳しくは、初回授業で説明する。